

岐大通 2013

2013 J.League Division2

第3節 ガイナーレ鳥取 戦

9/22(日) 13:00~

@大垣市浅中公園総合グラウンド陸上競技場

F C 岐阜大好き通信(岐大通)

9/22号

編集発行:

『岐大通』製作委員会

今号の製作担当:

ささたく & 吉田鑄造

today's guest : ガイナーレ鳥取 2012 J2 1勝 5分 2敗 勝ち点 38:20位

米子を本拠としていた『鳥取教員団』が母体。『SC鳥取』として2001年からJFL参加。中位~下位に低迷していたが、本格強化を始めた2008年、2009年は5位。そして2010年に2位と勝ち点15の差をつけてJFL優勝し、一昨年よりJ2へ。今年から元ガイナレ選手の小村徳男氏が監督に就任も成績不振により解任。強化部長だった前田浩二氏が指揮を執る。(吉田鑄造)

9/ホーム戦で東京Vに敗戦し、続く天皇杯2回戦でも、アウェイの地で岡山に敗れたFC岐阜。しかし、前節のアウェイ群馬戦では見事勝利し、勝ち点を28に積み上げた。残念ながら2位の鳥取も愛媛相手に引き分けたために最下位脱出とはならなかったが、これで鳥取とは勝ち点差で並んで得失点差のみとなり、最下位脱出のチャンスが再びやってきた。

さて、今節の対戦相手は、その勝ち点28で並んでいる、ガイナレ鳥取。つまり、今節はJ2残留争いの大一番だ。ここで勝てば最下位脱出を確実に果たせる。また、現在は20位・群馬(勝ち点31)とも勝ち点差が3、19位・熊本と18位・富山とも勝ち点差が4となっていることから、勝てば降格圏脱出の機会も狙えるようになる。しかし、逆に(考えたくないが)負けてしまえば、鳥取に大きく突き放されてしまう。「負けられない戦い」どころではない、本当に「勝たなければならない」試合が今節だ。

そして、この大一番を戦う舞台が、J昇格以降は初めてとなる「大垣市浅中公園総合グラウンド陸上競技場」。かつてJFLに在籍し、9年に廃部となった(そして、そのことがFC岐阜誕生のきっかけともなった)西濃運輸サッカー部のホームスタジアムが、この「浅中」だ。

FC岐阜は、これまでホームタウンを「岐阜県内全域」と設定し、地域貢献活動など県内全域で実施していたが、試合そのものは(クラブもJリーグに毎年要望してきたが)、スタジアム基準の問題で、岐阜市内(メモリアルおよびメドウ)以外での開催は認められてこなかった。今回、それが(特例ではあるが)認められての開催となる。西濃の有力企業がマッチスポンサーに名を連ねるこの試合、当然、クラブとしても今後の運営に関わる、非常に重要な試合だ。

鳥取との通算対戦成績は、1勝2分2敗と現在は分が悪いが、JFL時代(2007年)を入ると、3勝2分2敗。そして前回6/15の対戦では、アウェイで4-3と劇的な逆転勝ちを納めている。この浅中でも見事なゴールを挙げ、最下位脱出と共に、西濃地区の観客に素晴らしい勝利を見せて欲しい。今節は、累積警告で#27FW樋口選手が欠場なのがチームとしては痛い、他の選手の奮起を期待したい。特に#6MF服部選手と#10MF美尾選手にとって、鳥取は以前在籍した「古巣」、勝ちたい気持ちは誰よりも強いはず(そしてそれは、前回の鳥取戦での勝利の時に証明されている)だ。しかし、対する鳥取も前回のリベンジを果たすべく、この試合に懸けているはずだ。#13FW久保裕一のシュートは驚異だし、#26MF永里源気には前回2失点も奪われている。また、昨年はレンタルで岐阜に在籍していた#24廣田隆治も、成長したところを見せようとゴールを狙ってくるだろう。岐阜としては、守備陣任せにしないチーム全体での守備を、また攻撃面でも全員が勇気を持ってシュートを打ち、ゴールを狙う姿勢を、そして何より、最後までひたむきに走り抜くことをやり遂げなければ、勝利の女神は微笑まないことだろう。

まさに「勝てば天国、負ければ地獄」、互いのクラブの命運を懸けた「大垣決戦」。最後まで#アキラメナイ方が勝つ、そんな死闘になるだろう。しかし、最後に勝つのは我々だ。最後まで拍手と声援で選手の後押しをして、ここ浅中でも、歓喜の万歳四唱をスタジアムに響かせよう。(ささたく)

2013J2 順位表 第3節

勝点、得失点差、得点、失点、岐阜戦の戦績(岐阜から見て)

1	G大阪	70p	+37	77	34	A	H
2	神戸	68p	+27	59	32	A	H
3	徳島	56p	+8	47	39	H	A
4	長崎	56p	+7	40	33	H	
5	千葉	55p	+18	55	37	H	A
6	京都	54p	+19	55	36	H	A
7	松本	49p	+2	39	37	A	
8	札幌	48p	+8	49	41	A	
9	岡山	48p	+7	42	35	H	A
10	山形	47p	+12	60	48	H	
11	東京V	45p	-1	44	45	A	H
12	水戸	44p	-6	39	45	A	H
13	福岡	44p	-7	35	42	A	H
14	栃木	43p	0	43	43	A	
15	横浜FC	41p	-1	36	37	H	
16	愛媛	37p	-9	32	41	A	
17	北九州	35p	-10	38	48	H	A
18	富山	32p	-15	29	44	H	
19	熊本	32p	-19	33	52	H	A
20	群馬	31p	-17	29	46	H	A
21	鳥取	28p	-29	30	59	A	
22	岐阜	28p	-37	27	64	---	---

次回 HomeGame

第36節 松本山雅戦

10/6(日) 16:00

@岐阜メモリアルセンター
長良川競技場

投稿募集!

gidaidohr@hotmail.co.jp

岡田歯科医院

岐阜市加納新本町 1-23
tel:058-273-8998



本庄工業株式会社

http://www.honj-woodream.com/

【第3節】岐阜1-2東京V

え〜っと、なんと表現したらいいのか……。とりあえず言いたいのは、サッカーは90分での得点数を競うゲーム。前半どちらかのパフォーマンスで優劣を決めるワケじゃない。もう、前半はよかったとか、後半はできていたとかはおなかいっぱいです。もちろん、90分間走り続けるのは困難です。それはわかってるつもりです。ただ、それは相手の攻撃に対しチェックもいかず、好き放題にやらせているというワケじゃない。この試合の前半、特にバジェのシュートから2失点するまでは腰が引けたように見えたけどなぜなのかな？それとも、東京Vとやる時の仕様なのかな？どうも、彼らとやる試合は同じような展開で、好き放題にやられっぱなしで気がするんだけど？失点は1少なくなっただけ、3月の味スタでも同じようにやられて前半だけで3失点。アタマからガンガン来られてビビった……。ワケじゃないと信じたいが……。いつも、東京はウチとやる前に不調になって、ウチに勝ってから調子上がるってパターンができあがっているみたい。もう、なんかね。あっちの選手は余裕がありまくりなんだよね。余裕があるから、2点目の森みたいなボレーが決められる。逆に、ウチは余裕がないから樋口はバー、美尾は宇宙開発。そんなパターンばかりになっているような気さえる。後半の得点も、あきらめなかったスティッペは称賛に値するけど、そもそも終盤2点差ということで、気の抜けたプレーをした相手からのプレゼント。こんな相手に、いつまで好き放題やらせるのかな？人数が二人ほどアチラの方が多かったですか？……って思うくらいの内容で、残念が残念で残念な（あえて繰り返してます）気持ちで爆発しそだった試合後でした。

どうなんでしょう？気合ってどうやったら入りますか？選手の皆さん。パスを降りた時、サポーターがチャントを歌って鼓舞してありますが気づいてますか？ああいうのは気合の入るスイッチになりませんか？ピッチ内練習の時、個人チャントやコールを届けてますが気合入りませんか？ユニを着た時、気合い入りませんか？ピッチ内練習は体を温めて気持ち高めるための準備だと思ってましたが、ロッカーへ戻ったら冷めてしまうもんなんですか？う〜ん、千葉とあれだけの試合をやった後にこんな試合じゃたまりません。アウェイの北九州戦に匹敵するくらい情けない試合でした。もう、やめてくださいな？こんなのは。まあ、後半の不可解なレフェリー・ボールが、セルフジャッジだったんじゃないとわかって、それだけはホッとしました。ああいう誤審もあるんですねえ……。ビックリしました。（ぐん、）

【天皇杯】岡山2-1岐阜

天皇杯は今季も初戦で終わってしまった。今季2度目のカンスタ。リーグ戦とは仕様が違いゴール裏までダンマクの掲出が可能。いつもとは違う光景が楽しめた。オマケに屋台村は影も形もなく、普段の賑わいを知る者から見るとさみしい限り。主催者が違うとこんなもんかな？ギリギリまで迷ったけど、この試合はメインで観戦。で、内容結果といえば、選手変われど仕様はかわらず（苦笑）。試合開始直後から、ノックアウト方式の試合にしては双方ボール動かしすぎなんじゃないか？とっていたが、10分過ぎたあたりから岡山のポゼッションが優位になったところでミドル閃。時々の反応が遅れたように見えたのは、味方のブラインドになったか？ただ、ボールの飛んだコースもゴール左隅。触るのも難しいところに見えたからしかたない。でも、その後はウチも柴原のドリブルから、サイドチェンジを絡めたウチらしからぬ（爆）見事なパス回しで美尾のジャンピングヘッドは相手GK正面。十分チャンスを作れるところを見せてくれたのはよかったんだが……。直後のリスタートで関田のキムチ。スルーパスに抜け出した相手を手で押さえたとの判定らしいが、押さえなくても追いつけなかったように思うがどうだろう？イエローが妥当のような気が……。その流れから追加点を奪われ一層戦況は厳しいものに。それから、ポゼッションで劣勢になるのはやむを得ず。岡山のシュートミスにも救われたし、懸命に相手の攻撃を防いでいる間隙を縫って、染矢のカウンターで一点は返したものの、あと一歩及ばず。まあ、数的不利の中よく戦ったというしかない。

ところで、この試合。服部をフルに使って司を休ませた意味はなんだったんだろう？群馬戦の布石で司を休ませたのかな？試合後、今後のスケジュールをチェックして驚いた。もし、岡山に勝ってたら来月16日（水）にアウェイで柏とだったのか。で、20日（日）がアウェイで長崎、23日（水）にアウェイで横浜。なんと、東へ西へのアウェイ3連戦になるところだった。う〜ん、結果オーライ？……とっておこう。

さて、いよいよ来週からが天王山。勝ち点がいくつ取れるかによって今後が左右される。かなり緊張感のある2週間になりそうだな。（ぐん、）

【ユース】降格圏脱出！あと2試合！

我がFC岐阜ユースU-18(以下FC岐阜ユース)は、前回のホームゲーム以降G1リーグの3試合をこなしています。

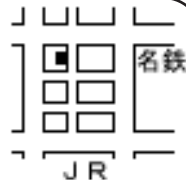
8月31日の第1節帝京大可児高B戦は1対0で勝利！9月7日の第2節大垣工業高戦は3対1で勝利！！9月14日の第3節大垣西高戦は7対0で勝利！！と3連勝しました（万歳〜）。これによって手元集計では順位が6位となり、降格圏順位をようやく脱する事が出来ました！

G1リーグも原稿を書いている時点で2節を残すのみ。FC岐阜ユースは9月21日（土）の関商工高戦と10月5日（土）の岐阜工業高戦の2試合が予定されています。因みに9月21日にFC岐阜ユースが勝利し、かつ7位のチームが負けるか引き分けるかすると最終節を待たずにG1リーグ残留が決まります。今日のホーム試合に吉報が届いているのを期待しています。

又、9月末からは秋恒例のJユースカップの予選リーグが開幕します。初戦は9月29日（日）。FC町田ゼルビアユースと笠松の岐阜FCで対戦します。FC岐阜ユースはこのJユースカップではまだ勝点を上げた事が有りません（苦笑）。今年こそ初勝点をゲットし、決勝トーナメント進出を目指しましょう！！

頑張れよ、応援しているからな！FORZA！FC岐阜ユース！！（シュナ）

「いらっしゃいませ」より
「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。
『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から
徒歩3分。



休：月曜（定休日が変わりました！）

ALADDIN

何も無い店だけど・・・
心の花が咲く・・・
何も無い店だけど・・・
心癒される・・・
忘れかけていた喫茶店がある

岐阜市昭和町3丁目（木ノ本公園東）

【第3節】群馬0-1岐阜

待ちに待った万歳四唱の後でトラメガを渡されたバージェが、シャナナに合わせて歌って跳ねる。で、トラメガを返そうとした彼に、通訳さんもいるんで最前列の仲間がコメントを求めたら「サイコッデス！」だってさ。ホント、サイコッだよ！オマエがさ！！だから、シャナナの「ギッフッ！」って入れる所を「バージェ！」にアドリブで入れ替えて歌ったワケだよ。いっそのこと、コレを彼のチャントで使ってもイイな、と思ったが、シッカリ彼のチャントは出来ていた。メロディーは聞き慣れたヤツだったけど、歌詞の一部がわからなかったんで（苦笑）、浅中ではきっちり歌えるようにしておこう。どんなチャントかは浅中でチェックしに来てくださいね。それにしても、二人のDFに挟まれてたのにいともなくコースを狙って決めたのには驚いた。これをキッカケにどんどんゴールを決めてほしいネ！頼んだよ！！

試合自体はお互い慎重な出だし。特にギアを上げるわけでもなく、残留争いにふさわしい(?)流れから双方に危険なシュートがあって、さあ、これから慌ただしくなるぞ...、と思ってたところに一発退場。試合会場の正田醤油で観戦したことのある方はお分かりかと思うが、バクスタならともかく、あそこのゴール裏は遠いうえに角度がないため非常に見づらい。カードの色は照明の反射で赤だとわかったけれども、どちらの選手に出されたのかがしばらくわからなかった。スパイクの裏を見せて飛んだからかな?とは思ったが、キムチまでは気の毒な気がした。で、正直「また、新か!」と思ったことを告白しておく。ゴメンね>新。

その疑問符のつくレッドカードの調整じゃないだろうけど、新井のヘッドはどこから見たってゴールだと思うのだが...。手や足を使ったワケじゃない。空中のイーブンボールに触ったのは新井のみ。相手DFは、ただ棒立ちでボールウォッチャーになってただけです。あの場所でばけーっと突っ立ってることがありえない話。アレでファールを取られたら競り合いなんてできやしない。ゴール前は接触禁止になっちゃうよ?そんなトコで帳尻合わせなくていいから>岡部さん(だっけ?)

ともかくにも勝ち点3。数的優位がなかったら、どう転んでたかもわからない。それでも、いまはとにかく結果が欲しい。他力での最下位脱出はかなわなかったけど、それは次節の直接対決で!鳥取のサポーターさんがどれくらい来るのかわからないけれど、圧倒的なホームの雰囲気を作り出して選手の後押しをしていきたい。鳥取戦が終われば一回お休みとなるだけに(月末に予定されてたアウェイ横浜戦が延期)、余すところなくすべてを出し切って戦ってほしい!(ぐん、)

台風直撃コース、試合の中止も覚悟して、それでも「勝たなくてはならない試合」だからと向かった群馬。...だったハズなのに、行きの道中もほとんど雨に降られず、正田醤油スタジアムでは残暑厳しい太陽のお出迎え...結局、試合中も雨は一切降らず、汗を流しながらの応援...いや、いいんですけど(苦笑)。

これまでの数試合、言っちゃ悪いが試合の入り方が最悪で、慎重すぎて受けに回り、攻められて失点...というパターンに陥っていた。この大事な一戦に、更に慎重なのは...と個人的には心配していたが、今回は何度か(結構ヤバイ雰囲気)シュートを撃たれてたけど、攻める姿勢も見えてたし、試合の入りは(ここ数試合と比べると)それほど悪くはなかったかなと思う。

で、問題の前半3分。正直、僕には「#2DF新と相手がお互いに足を上げて衝突した」という風に見えてたんで、主審が出したレッドカードには、(8/18水戸戦での新の退場を思い出して)ギクリとした。んで、新がピッチ外に出たので「うわ、レッドはこっちか!」と思ったけど、どう

も再開は岐阜ボールの様子で、「???」となっていたら、群馬の#19黄誠秀が退場、ようやく胸をなで下ろした...というのが、僕の視点での出来事だった。とりあえず、疑った新、ゴメン(苦笑)。

1人少なくなった群馬だが、しかし、サッカーでは「10人のチームが1人相手に勝つ」のは良くある話で。戦術が明確にカウンター狙いになる群馬と、数的優位で油断あるいは慎重になりすぎてシュートを撃たなくなる岐阜、そして結果は...という、悪い構図が僕の頭には浮かんでしまった。事実、(個人的には数的優位を活かすために、ガンガン動き回ってスペースを作り出せば良いと思うんだが)前半は優位に立ちつつも、それまでの動きが鈍くなり、ボール回しに固執してシュートを撃てなくなってしまった様に感じた。

これはマズイかな...と思ったが、ハーフタイムに修正が入り、積極的な攻撃が後半直後から見られるようになった。しかし最後のパスやシュートの精度が悪く、じりじりと時間が過ぎてゆく。ちょっと焦りが出てくる頃か...と感じだした後半2分、新からのグラウンダーのアーリークロスを、交代で入った#34FWバージェが相手DF2人に挟まれながらも足を伸ばし、ワンタッチでコースを変えたボールは#22GK北の腕をかいぐり、先制ゴール!改修中で狭くて低い(ピッチは見にくいけれど、寄ってきた選手の目線は非常に近い)ゴール裏に、真っ先に駆けてくるバージェに大興奮でナダレる岐阜サポーター(苦笑)。

これで勢いに乗った選手たちは更に群馬ゴールに襲いかかり、後半2分には、CK崩れからのプレーで#10MF美尾が上げたクロス、残っていた#20CB新井が相手DFを吹き飛ばしつつ見事なヘッドで追加点!!...と思ったのだけれど、ファール扱いでゴールならず...まあ、レッドが微妙な判定だったので、ここで帳消しにしたと僕は思うことにした...いや、勝ったから言えるんですけど(苦笑)。

ただ、ここで追加点を獲ってれば楽な展開になっていた(かもしれない)が、この後は少し流れが群馬にいてしまい、(後半4分#2槌口の惜しいヘッドはあったけど)何度か危ない場面を招くことに。でも、集中した守備陣や#31GK時久の活躍で、無失点に終わることができた。アウェイの地で、リーグ終盤に貴重な勝ち点3。静まりかえるスタジアムに響き渡る岐阜サポのアイダ(凱旋行進曲)と万歳四唱。最高の気分だった。帰りは深夜、三重県内では通行止めもあったようだが、大雨の中でも気分良く帰ってくることができた...いや、遠征サポって、そんなもんです(苦笑)。

しかし、この勝利で全てが上手くいく訳ではない。勝ち点で追いついただけで、最下位から抜け出せた訳でもない。次の試合、鳥取に大垣浅中で勝たなくては意味がない。次の試合が本当の正念場。一戦必勝の気持ちで、修正すべき点はきちんと洗い出して試合に臨んでほしい。

(ささたく)

9/20現在のJFL順位表。

1: 讃岐	53pts	来年度J2ライセンス交付の可能性
2: 長野	51pts	
3: 町田	45pts	来年度J2ライセンス交付の可能性

> J2ライセンス所有のクラブが優勝&準優勝した場合
J2の最下位はJ3自動降格になり、J2の2位はJFL準優勝クラブと入替戦、負けた方がJ3へ。

> J2ライセンス所有のクラブが優勝した場合
J2の最下位はJ3自動降格。

> J2ライセンス所有のクラブが2位になった場合
J2の最下位は当該クラブと入替戦、負けた方がJ3へ。

